

道路生態研究会の概要

名 称：

道路生態研究会
(Road Ecology Research Society of Japan)

目 的：

道路と緑や自然、野生生物との係りを考究し、自然環境の保全に係る学術的研究、技術の情報収集及び提供、情報の交流、普及啓発を通じ、交通インフラ整備、管理、運営における自然環境の保全や生物多様性の確保、さらには社会環境の質的な向上に貢献する。

活 動：

1. 環境の保全に係る研究活動
2. 交流・普及啓発に係る活動
3. 前号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動
4. 交通インフラ事業者への提言及び助言

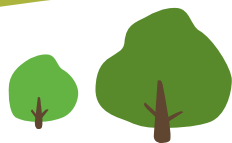


事 業：

1. 道路（交通インフラ）における自然環境保全に係る研究会の開催
2. 研究会誌、ニュースレター等の発行
3. 環境保全技術の情報収集、提供
4. 国内外での情報の交流
5. 普及啓発

役員等（設立当初）：

代表：亀山 章
副代表：柳川 久
代表幹事：佐藤 将
代表幹事：園田 陽一（会計担当者）
幹事：塚田 英晴・宮下 修一・村山 元・森崎 耕一
矢竹 一穂・山田 一雄
監事：草野 信



道路生態研究会 入会のご案内

研究会の趣旨に賛同し、共に活動を推し進めて頂ける方々、活動を支援して頂ける方々の輪を是非広げていきたいと考えています。多くの皆様にご入会頂けるようご案内申し上げます。会員種別は2種類あります。

1. 個人会員 年会費 3,000 円
2. 学生会員 年会費 1,000 円
3. 団体会員 年会費 一口 10,000 円（一口以上）

入会申込（会員登録）

会員種別・氏名または団体名、連絡先住所とeメールアドレスを下記まで、メールでお知らせ下さい。

道路生態研究会

E-mail: roadecology.researchsociety@gmail.com

Web: <https://www.ersj.org/>

Facebook: <https://www.facebook.com/roadecology.researchsociety>

会費振込

下記口座まで、お振込み下さい。

ゆうちょ銀行口座

名前：ドウロセイタイケンキュウカイ

店名：〇一八（ゼロイチハチ）

預金種目：普通預金

表紙写真：
動物移動用のオーバーパス
（圏央道 茂原第一トンネル）

R.E.R.S.J

Road Ecology
Research Society
of Japan



道路生態研究会

Road Ecology
Research Society of Japan



R.E.R.S.J



道路生態研究会 設立趣旨

今日、生物多様性の保全や生きものとの共生など、自然環境の保全に対する社会的関心は著しい高まりと広がりをみせています。道路（広義には交通インフラ）と野生生物の関係性を解明する「道路生態学」は、2003年にR.T.T. Formanらが執筆した「Road Ecology」以来、持続可能な社会システム構築のための交通インフラ・ネットワークの整備と自然環境との調和を目的として発展してきました。

一方、我が国では、交通インフラと野生生物の関係についての発表の場が極めて少ないため、関係者間での情報交換が進まず、道路など各種事業での活用が限られているのが現状です。

そこで我々は、道路と自然環境、野生生物に関する学術研究・技術開発に関する情報交流・共有、普及啓発を通じ、交通インフラの整備、管理、運営における生物多様性保全や社会環境の質的な向上に貢献することを目的として、「道路生態研究会」を発足させました。自然科学・社会科学を問わず、道路（交通インフラ）と自然環境、野生生物に関わる日本全国の研究者や実務者、行政機関、NPO等の間でネットワークを構築し、研究発表と情報交換の場を提供するとともに海外の組織とも連携を図り、多様な主体による日本の風土に根ざしたエコロジカルなインフラストラクチャーデザインの発展に寄与したいと考えております。

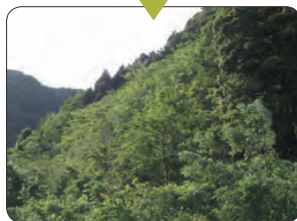
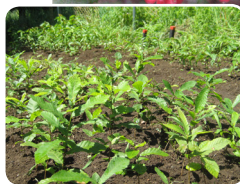
代表 亀山 章
2015年12月

道路生態学とは・・・

道路生態学によるヒトと生き物のための交通インフラづくり

道路緑化

郷土種による植栽、法面緑化



圏央道八王子ジャンクションの
法面緑化

ロードキルの防止

道路標識 侵入防止策、ボックスカルバート、オーバブリッジ、樹上性哺乳類のためのブリッジ、小動物の這い出せる側溝



ビオトープの造成



環境保全型調整池（圏央道 茂原地区）

湿地等の保全、ミチゲーション



「圏央道」とは首都圏中央連絡自動車道の略称です。

